

2022年度事業報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

事業の状況

1. 書道に関する展覧会の開催

(1) 第77回日書展の開催

本院役員・公募作品による第77回日書展を、2023年1月4日から10日まで東京都美術館において開催した。会期中、授賞式をホテルオークラ東京にて挙行了した。また、例年開催している祝賀会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止とした。今回展の出品状況は下記の通りである。

役員出品作品	602点	(前回比 -22点)
一般公募作品	514点	(前回比 -27点)
合計	1,116点	(前回比 -49点)
観客入場者数	6,002名	(前回比 +989名)

(2) 第77回教育部展・第67回全国競書大会の開催

児童・学生書道教育の振興を目的とした第77回教育部展、学生・一般を対象とした第67回全国競書大会を、2023年1月4日から10日まで第77回日書展と同時開催した。会期中、同館内にて授賞式を挙行了した。

(3) 第57回秀華書展の開催

本院役員選抜による秀華書展は第57回展を迎え、2022年4月13日から17日までセントラルミュージアム銀座において開催した。出品作家は理事を含めて107名。また、特別企画として新教育部審査員19名による「日書美新鋭作家書展」を併催した。また、例年開催の、会期中同会場内における代表作家による席上揮毫会、祝賀会は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止した。観客入場者総数は、1,346名であった。

2. 書道に関する講習会の開催

(1) 第39回書道教養講座の開催

本院発行の機関誌の手本・審査についての知識と技法を高めるため、該当者を対象とした第39回書道教養講座を、2022年10月10日一ツ橋「日本教育会館」において開講した。午前はプロジェクターによる手本書きの解説、午後は九成宮醴泉銘の臨書揮毫を行い、65名が参加した。

3. 機関誌の発行と出版物の刊行

(1) 日本書道美術院機関誌の発行

①役員・関係者相互の情報交換を図り、書技術の実力向上を試す月例競書誌「書道美術」「みんなの書」は、本年も計画通り発行された。今年度の両誌の発行実績は次の通りである。

(イ)「書道美術」 第792号から803号(12回)

(ロ)「みんなの書」 第785号から796号(12回)

②月例競書の行事として第67回昇段級試験は2022年9月30日に締め切り、同10月16日、一ツ橋「日本教育会館」において最終審査を行った。

以上